

関東龍門会報

〔〈旧制〉加治木中・加治木高女・加治木高校同窓会〕

発行人 会長 塩村 朱美
 発行元 関東龍門会 事務局
 HP www.ryumonkai.com
 幹事長 海江田 健司 (〒179-0083)
 東京都練馬区平和台4-12-17-202
 〈メールアドレス〉
 kenji_kaieda@sonylife.co.jp

忘れず、これからも前進していきたいです。

「身の程知らずなことをしてしまった」と思いましたが、加治木高校という場が、私が最後まで走り続けるためのエンジンとなりました。素晴らしい学び舎で得られたものを

「身」の程知らずなことをしてよかったと思いましたが、加治木高校という場が、私が最後まで走り続けるためのエンジンとなりました。素晴らしい学び舎で得られたものを

何かに挑戦することは決して簡単ではありません。私は何度か「やめておけばよかった」と思いましたが、加治木高校という場が、私が最後まで走り続けるためのエンジンとなりました。素晴らしい学び舎で得られたものを

に卒業を迎えることができました。

コロナウイルスが少しずつ収束の兆しを見せ、私たちの代で遠行や派遣事業が復活するなど充実した学校生活を送ることができました。私にとって、この3年間は「挑戦」の日々だったと思います。

1つ目の挑戦は、海外短期研修に参加したことでした。それまで英語が大の苦手だった自分を変えたいと思ひ応募を決意しました。毎日オンラインの英会話レッスンを受講し、少しずつ苦手意識が改善されて審査を通過することができました。アメリカでは貴重な経験をさせていただき、自分の世界が広がりました。

2つ目の挑戦は、ビプリオバトルに取り組んだことです。ビプリオバトルでは、本の魅力を5分間のプレゼンと3分間のディスカッションで発表者がアピールし、観客が最も読みたいと思った本がチャンプ本に選ばれます。ビプリオバトルは本と向き合うと同時に自分とも向き合う必要があります。私はこの活動を通して、プレゼン力や度胸を身につけることができました。



挑戦
 宮路 結愛さん (令和07年卒・高77期)
 期待と不安に胸を躍らせながら入学した日を昨日のことのように思い返すことができません。高校の3年間はあつという間には過ぎ去り2月28日

を躍らせながら入学した日を昨日のことのように思い返すことができません。高校の3年間はあつという間には過ぎ去り2月28日

そして、これから龍門会の一員になる私たちも後輩の力になれるよう尽力していきます。



お礼
 美術部卒業生・在校生からのイラスト提供

今回も会報発行にあたって、今年度美術部卒業生・在校生に、高校生のイラストを5枚書いてもらいました。高校生をテーマにした素敵なイラストで各ページに分けて掲載しています。

美術部卒業生・在校生の皆さん、ありがとうございました。

- 【寄稿いただいた美術部卒業生】
 鬼谷 美那さん (国分南中卒)
 川村 怜生さん (舞鶴中卒)
- 【寄稿いただいた美術部在校生】
 松田 結衣さん (単人中卒)

※鬼谷さんは、県高校美術展において、鹿児島県高等学校文化連盟大賞をとりました。加治木高校のブログにすてきな作品が掲載されています。是非ご覧ください。



今年度の関東龍門会総会・懇親会)のご案内です
 開催日は2025年6月7日(土)、会場はアリスアクアガーデン田町です!!

令和7年度 関東龍門会 総会(懇親会)開催案内

- [日時] 2025年6月7日(土)・受付開始:12:00～、総会:12:40～、パーティ:13:30～
- [場所] アリスアクアガーデン田町(港区芝5-34-7 田町センタービルピアタ3F、TEL:03-5427-5535)
- [アクセス] JR田町駅西口徒歩1分、都営浅草線・三田線 三田駅A4出口徒歩1分
- [会費] 8,000円(学生参加者は無料)。なおこの他、関東龍門会年会費が別途2,000円発生します。会費は同封の「払込取扱票」による事前の振り込みをお願いします。振り込み期限は5月25日(日)までです。お振込みいただいた懇親会費は返金いたしません。ご欠席の場合は寄附金としてお取り扱いさせていただきます。
- [その他] パーティは着席形式です。会員様だけでなく、ご家族の方も一緒に参加いただけます。是非ご参加ください。

(お願い)
 前年から総会出欠に関する返信ががきは廃止済ですので、同封した「払込取扱票」による事前振り込み、あるいは懇親会ご参加の方に限り下記口座への直接の事前振り込みをお願いいたします。振込金額は「年会費・懇親会費」合わせて1万円。寄附金は任意となります。

【ゆうちょ銀行から】記号・番号:00180-0-190265

【ゆうちょ銀行以外】銀行名:ゆうちょ銀行 金融機関コード:9900 店名:〇一九店 預金種目:当座 口座番号:0190265

※振込に際しては、卒業年の西暦下2桁を名前の前に入れて下さい。例)2010年3月卒業の場合 10 ヤマダタロウ

※振込金額1万円を超える分は、寄附金としてお取り扱いさせていただきます。

- ・昭和43年卒(高20回生)のご出席者には「喜寿」お祝い記念品(龍門会オリジナル湯呑茶碗を贈呈致しますので、お仲間お誘いあわせの上、是非ご出席ください。
- ・総会当日の連絡先、地図は同封の案内状・ピラを参照ください。
- ・昨年ご好評いただいた「総会写真集」を今年も販売する予定です。価格は一冊2千円を予定しております。

☆<関東龍門会>は会員皆様の年会費で運営されております。年会費の納入に是非ともご協力をよろしくお願い申し上げます。☆

「加治木高校の近況報告」



鹿児島県立
加治木高等学校校長
宇都 尚美先生

母校の加治木高校に着任して3年が経ちます。関東龍門会の皆様には、平素より物心両面から温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。おかげさまで母校では、在校生が清心澆刺とした学校生活を送っております。高みをめざして勉学に励みながら、部活動、生徒会活動、地域貢献活動などにも一生懸命取り組み、自らの人間形成を図っています。

令和6年6月1日には関東龍門会総会・懇親会が開催され、私も出席をさせていただきました。令和5年度に引き続き2回目の参加でしたので、皆様との再会が大変楽しみで、会場へもスムーズに向かうことができました。塩村会長をはじめ役員の皆様には大変お世話になりました。母校から離れた東京で同窓生が集い、世代を超えて懐かしい思い出に浸る瞬間は大変感慨深いものです。「加治木高校はおお我ら」と声高らかに歌う同窓生の表情は、母校やふるさとを想う気持ちで溢れているように見えました。素晴らしいひとときを皆様と共に過ごすことができて本当に幸せでした。

令和7年を迎えて約3ヶ月が過ぎようとしています。節分立春が過ぎて暦の上では春に入っても、今年には厳しい寒さが続きました。ようやく梅の香りが漂う令和7年2月28日に77

77



期生302名が卒業しました。卒業式と前日の同窓会入会式には、関東龍門会からも塩村会長、満留副会長、西迫副幹事長（全校同窓会副会長）にご列席を賜りました。同窓会入会式ではお

祝いや励ましのお言葉とともに、「先輩を頼って」というお声掛けもいただき、卒業生は心強く感じたことと思います。心より感謝申し上げます。77期生は明るく元気で団結力のある学年でした。悲しみや苦しみを乗り越えてそれぞれが進路実現を果たし、巣立っていきました。ある卒業生は、「いつか龍門講座で講師として話をするのが目標です」と語ってくれました。これからの社会を担っていく人材として活躍してくれるものと期待しております。先輩から後輩へと響がたがっていく気風は本校の伝統の魅力です。

さて、これからの時代はグローバル化の進展やテクノロジーの急速な進化によって予測困難な時代と言われています。そんな時代を生き抜くためには、固定観念にとらわれず柔軟に対応する力が求められます。令和6年度は「自らの意思で未来を切り拓く人材の育成」を教育目標に掲げ、探究的な学び（探究活動）を推進してまいりました。各教科の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用・統合し、課題の発見・解決や社会的な価値創造に結びつけていく資質・能



鹿兒島県内 普通科設置の主要公立高校合格状況
鹿兒島県教育委員会HPより抜粋
(令和7年3月13日、3月24日発表)

高校名	学科	募集定員	合格者数
加治木	普通	320	318
鶴丸	普通	320	320
甲南	普通	320	320
鹿児島中央	普通	320	320
鹿児島玉龍	普通	127	127
錦江湾	普通	160	92
	理数	80	50
	計	240	142
武岡台	普通	240	240
	情報科学	80	77
	計	320	317
松陽	普通	240	215
	音楽	40	34
	美術	40	40
国分	計	320	289
	普通	280	280
	理数	40	40
蒲生	計	320	320
	普通	80	55
	情報処理	40	29
指宿	計	120	84
	普通	120	71
	普通	120	79
川内	普通	280	275
出水	普通	120	111
志布志	普通	120	71
鹿屋	普通	240	240
大島	普通	240	217

力の育成を目指しています。「総合的な探究の時間」に、生徒たちはグループ単位でそれぞれ課題や問いを設定し、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行ってまいります。3月に実施した探究発表会では、各学年の代表グループが、1・2年生全員の前でそれぞれのテーマによる発表を行いました。複数の大学から11名の先生方をお招きして、指導・助言もいただきましたが、どの発表内容も着眼点が目白押し、プレゼン力も素晴らしかったという講評に生徒たちも喜んでいました。生徒たちは探究活動を行う中で、教科の知識が実際に役立つ場面を経験し、改めてその重要性に気付きます。「なぜ学ぶのか」を実感した生徒たちは、学びに対する意欲をさ



らに高めていくこととなります。加治木高校では、これからの時代を生きる人材育成のために、不易と流行を大事にした教育活動を行ってまいります。変化の激しい時代においても普遍的な人間形成の価値を守り、生徒たちが未来を切り拓くための力を身に付ける教育活動に取り組んでまいります。職員・在校生一同、今後ますます精進してまいりますので、どうぞ温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

結びに、関東龍門会のみならずのご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



『高校教師の夢に向かい、楽しく奏でる日々のメロディー』
令和5年卒（75期）市野敦士さん



◇著者近影

こんにちは。第75期卒業生で、現在駒澤大学の文学部地理学科地域環境研究専攻に所属している市野敦士です。私は2025年度から大学三年生になります。今回は私の大学生活と将来の目標について書かせていただきます。

私の大学生活は大きく、「学問」「サークル活動」から成り立っているといえるので、大学生活についてはこれらに関して書かせていただきます。

最初に学問に関して、私の所属している地理学科は、座学だけではなく実習の授業が数多く行われています。特徴的なものとして「巡検」というフィールドノートワークの授業があります。巡検とは、自らの足で実際に現地へ赴き、現地を調査するものです。私は昨年度、大学近辺から関東各地をはじめとしていくつかの授業で巡検を行いました。その中でも、ゼミの巡検が最も印象に残っています。私が2年次に所属したゼミでは、8月に4日間ほど、鹿児島県奄美大島で巡検を行いました。その内容は、宇検村の集落で「豊年祭」という行事の運営・参加をし、それを通して文化的な背景や意義、様々な特徴を記録するというものでした。巡検後は、持ち帰った記録の共有や考察をし、全体で一つとなる報告書を作成して、ゼミ発表の際に他学年の前で発表しました。報告書の作成をする際には、教授に何度も添削をしてもらい、



それを通して論文の記述方法について学ぶことが出来ました。次にサークル活動に関して、私は軽音楽のサークルに所属しています。私のサークルの普段の活動としては、大学にある音楽スタジオで毎月数日間のライブをするというものです。準備や運営、片付けの全てを自分たちで行い、演者や観客、裏方も全てサークルの人です。私は毎月ライブに出ているのですが、曲ごとにバンドを組めるので、私は毎月色々なジャンルの曲を色々な人と演奏できています。サークルに入ってから良かったところは、沢山の人が関わって様々な価値観に触れられるところです。私は元々クラシックしか聴かず、楽器もピアノとヴァイオリンしか弾きませんでした。しかし今では沢山好きなバンドを見つけたら、パートもキーボードとヴァイオリンに加えて、ギターやギターボーカル、ベースをしています。またライブ期間外でも、サークルの友達や先輩後輩と出かけたり、食事したり、電話しながらゲームをしたりなど充実した日々を送っています。

私は将来高校の地歴公民の教師になりたいという目標があります。私の場合は教職課程を取ることで資格取得ができますが、学部の授業とは別で取らなければならないので、正直とても大変です。2年生の時は通常1年間で組める授業数の2倍近くを履修しました。しかし今のところは全て単位を取得出来ており、順調だといえます。最後に、私の大学生活も振り返り地点に差し掛かっています。今後さらに忙しくなりそうですが、これからも学問とサークル活動を両立させて、目標に向けて頑張りたいと思います。

市野敦士（いちのあつし）さんは高75期、加治木中出身。現在、都内の大学三年生です。ご自身の夢に向けて頑張っていますね。今後のますますのご活躍を期待しています。



私は将来高校の地歴公民の教師になりたいという目標があります。私の場合は教職課程を取ることで資格取得ができますが、学部の授業とは別で取らなければならないので、正直とても大変です。2年生の時は通常1年間で組める授業数の2倍近くを履修しました。しかし今のところは全て単位を取得出来ており、順調だといえます。最後に、私の大学生活も振り返り地点に差し掛かっています。今後さらに忙しくなりそうですが、これからも学問とサークル活動を両立させて、目標に向けて頑張りたいと思います。

「龍門の樺2024」レポート

「龍門の樺2024」は、2年生4名（男子1名、女子3名）が参加し、2024年8月5日～7日の2泊3日を実施されました。関東龍門会会員他の皆様のご協力で、4名の後輩の成長への種蒔きが出来たことに感謝いたします。本稿にて、簡単に旅程の報告をいたします。

- 8月5日 ベンチャーラボ法律事務所 淵邊善彦さん（35期） 企業法務やベンチャー支援について学び、その後昼食を一緒にいただきました。
- ナウビレッジ株式会社 今村邦之さん（57期） WEBマーケティングの概要を、ワークショップを交えて学びました。
- 株式会社TBSテレビ 今市憲一郎さん（36期） テレビ局の仕事の概要を伺った後、「Nスタ」生放送中のスタジオ見学をさせていただきました。その後、TBS社員食堂で夕食を取るという貴重な体験もしました。



8月6日

- 外務省 永吉昭一さん（36期） 外務省内を一通り見学した後、「日本外交の現状と展望」と題し、我が国の外交についてわかりやすく教えていただきました。
- 大学見学 午後は、生徒が希望した大学（東京都立大学、お茶の水女子大学、早稲田大学、一橋大学）の見学に分散して向かいましては、案内役は、その大学に学ぶ同窓生です。生徒が見学を希望する大学に同窓生が在籍しない場合は、その大学に学ぶ他校出身の大学生の協力を得ることを、2023年から実現しています。



生徒が見学を希望する大学に同窓生が在籍しない場合は、その大学に学ぶ他校出身の大学生の協力を得ることを、2023年から実現しています。

- 夕食会 大学見学から、梅橋嘉博さん（24期）が営む中国料理「飲」に集合。高校生、大学生、社会人…と幅広い年代での食事と歓談を楽しみました。
- 8月7日 ソニー生命株式会社 海江田健司さん（40期） 大学に進学した場合の学費や生活費がいくら掛かるのか？そんな関心からスタートし、普段はあまりなじみのないライフプランの入口を体験しました。
- 旅程の最後に 昼食を済ませた後、3日間で体験したことへの感想、明日からの生活に活かしていきたいことについてシェアをし、羽田空港行きバスに乗車しました。

この「龍門の樺2024レポート」を、昨年12月に急逝された斎藤健太先生（40期）に捧げます。斎藤先生は、コロナ禍を越えて復活が叶った「龍門の樺2023」から2年連続で、引率の大役を担ってくださいました。斎藤先生、ありがとうございました。 関東龍門会役員一同



◇参加された生徒の皆さんと斎藤先生

「あの人」を訪ねて

「始良市役所から 鹿児島県東京事務所へ」

鹿児島県東京事務所へ」

2024年4月から鹿児島県東京事務所にてご活躍されている宮原敏子さんに寄稿いただきました。

宮原 敏子さん (平成15年卒・高55期)



◇著者近影 (真ん中が私です)

加治木で生まれ、「柁城小↓加治木中学校↓加治木高校↓鹿児島大学」と、全て地元で通い続けた私が務めているのは「始良市役所」です。どれだけ地元が好きなんだと思われるかもしれませんが、今まで市外にさえも出ることなく過ごしてきた私ですが、なんと今は東京に住んでいます。実は、令和6年4月から鹿児島県(県庁)の東京事務所に、研修生としてお世話になっているのです。始良市から東京・永田町へ。人生で初めての住民票異動が、東京23区でした。そんな私の鹿児島県東京事務所での業務内容について少しご紹介したいと思います。

鹿児島県東京事務所は、永田町駅のほど近くにある「都道府県会館」の12階に入っています。都道府県会館というのはその名のとおり、全国各地の都道府県の東京事務所がずらっと入居しているビル

で、そこで働いているのは主に各都道府県の県職員さんということになります。当事務所には、庶務的な業務を担当する「総務課」、農畜産品の生産・流通・販路拡大に務める「流通情報課」、県の観光や特産品等のPRを行う「観光物産課」、企業誘致や移住定住を推進する「企業誘致課」、県人会やふるさと納税を担当する「ふるさと交流課」、それぞれの担当省庁との調整・情報収集をしている行政第一課、第五課があり、20人の職員と会計年度任用職員が1人いて、そのうちの3人が私のような市町村(始良市、出水市、肝付町)からの研修生です。



県の観光や物産品のPR活動が主な業務です。大小様々な催事・イベントで観光コーナーの設置・案内や、旅行会社やメディア関係者に向けた観光商談会での説明・相談対応や、県のアンテナ

ショップ「かごしま遊楽館」の運営調整や取材対応などの業務をメインに従事しております。もちろん、業務の中で始良市関係のものや役立つ情報があった場合には、市の関係部署へ情報提供するなどもしています。

そしてたまに、始良市からも職員が出張で上京することがありますが、そういったときには公務に随行させてもらったりして、これが一番楽しい大変勉強になります。

商工観光課が物産展等で来る際の観光ブースの応援はもちろんのこと、教育委



員会が小学生から高校生の希望者を募って行っている「あいら未来特使団」で富士山登山の經由地として国会議事堂見学を行ったり、移住定住フェアで地域政策課の移住希望者の相談ブースを手伝ったり、建設部の要望活動で省庁訪問に随行させてもらったり、市の仕事の中でも部署・分野を超えた経験をさせてもらっています。

また、関東にいるおかげで、ふるさと会・県人会関係や龍門会の方とも距離が近くなり、良くしていただいています。同郷というだけでつながれる心強さと暖かさを実感しているところです。

なお、東京に行って標準語に染まるかと危ぶんでいましたが、周囲が皆鹿児島県民(県職員)なので、今のところ直る兆しはちっともありません。そんな東京の赴任期間も、恐らく来年までかと思えます。仕事でもプライベートでも、こちらにいる間に鹿児島では出来ない経験を可能な限りたくさんしたいです。それをまた、地元鹿児島や始良市のために役に立てられたらと思います。

宮原敏子(みやらはらよしこ)さんは高55期、加治木中出身。始良市役所から鹿児島県東京事務所昨年4月から出向中です。東京での生活も2年目。今後のますますのご活躍を期待しています。



同好会だより

囲碁同好会の皆様から、昨年久々に活動したとのご報告をいただきましたので、ご紹介します。

囲碁同好会・会計の田原です。
2024年5月16日(木)に、交通会館内にある日本棋院有楽町囲碁センターで、コロナ禍により2020年1月から絶えていた囲碁同好会を久しぶりに参加者6名で開催しました。また、11月21日(木)にも5名の参加で会を催しました。いずれも熱い闘いが盤上で繰り広げられ、順位を競うよりも交流を深めることに重点をおいて、相手を変えながら囲碁を楽しみました。



〈関東龍門会〉(令和6年度)事業報告

幹事長 海江田健司(昭63年卒)

〈活動報告〉

- ①令和6年度総会は2年連続でJ.R田町駅前前の会場にて開催され、久々の親交を温めることができました。
②議事として会計報告、年度事業計画等を討議しました。
③令和6年度令和6年4月1日(令和7年3月31日)は、常任幹事会4回、臨時役員会4回(リアル・オンライン)・会報編集委員会1回開催し、令和6年度の行事と会報発行を滞りなく遂行しました。さらに令和7年度の総会および「龍門の櫛」準備業務に向けて会議を行いました。
④母校発展のために寄与する同窓会活動の根幹事業として位置付けて平成27年度より関東龍門会の単独事業としてスタートした「龍門の櫛」イベント(8月上旬開催、関東地区の大学キャンパス見学と関東OB企業訪問)も2年連続で開催され、4名の母校の後輩が参加しました。(詳しくは開催レポートをご覧ください)
⑤各同好会活動はコロナ禍以降、まだ活動再開出来ない同好会もある状況ですが、囲碁同好会は久々に活動されたようです。活動レポートを掲載していますので、ご覧ください。
なお改めて各同好会の連絡先を紹介いたします。

○ゴルフ同好会

〈幹事〉川井田信雄(高・昭45)
(T E L) 0 4 3 2 5 0 4 4 7 8

○囲碁同好会

〈幹事〉山元真之(高・昭49)
(T E L) 0 4 4 1 5 2 2 1 9 8 1 5

⑥関東龍門会HPは左記QRコードからアクセスできます
(http://ryumonkai.com/)



〈関東龍門会事務局からのおお願い〉

◆年会費納入のおお願い
関東龍門会の運営は会員皆様方の会費と寄付で賄われており、それらは主として会報制作費と発送費用に充当されております。
会員サービスを充実するためには皆様の会費納入が絶対不可欠です。何卒、会費納入にご協力をお願い致します。
◆寄付への御礼とおお願い
毎年、会報および総会の席上で寄付金お申し出を承っております。例年、会運営に深いご支援を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。
なお、ご寄付に当りましては、「年会費振込用紙」をご利用頂き、金額欄に会費と寄付金額を合算した額をご記入ください。



◆関東龍門会への入会促進と総会・懇親会へのご参加をお願い

関東龍門会の存在をご存知ない方やこの会報が届かない方におられましたら、ご遠慮なく事務局へご連絡ください。
連絡先は
幹事長・海江田健司
(T E L) 0 9 0 4 6 6 2 1 3 6 1 7
・顧問・山下憲男・副幹事長・西迫宏文(株) ヒューマンウェア内、
(T E L) 0 3 1 5 2 8 2 1 7 5 1 1

また、ご出身地毎の郷土出身者懇親会や、知人・ご親戚の方で同窓生がいらっしゃいましたら、是非とも呼びかけていただき、本総会・懇親会のご案内及び総会へお誘い合わせいただき、出来るだけ多数の同窓生の方々ご参加されるよう何卒宜しくお願いします。
なお、同期生や知人・ご親戚の同窓生で当会未登録の方にも、お声掛けをお願い致します。
※学生は会費・懇親会費全て無料です。気軽に「参加ください。お待ちしております。

〈関東龍門会〉令和6年度 役員

(令和7年3月31日現在) ※ () 内は卒年

- 〈会長〉塩村[久永]朱美(昭49)
〈副会長〉満留友和(昭53) 大岩根正浩(昭54) 枝元真徹(昭54)
〈幹事長〉海江田健司(昭63)
〈副幹事長〉西迫宏文(昭55) 中野広行[会計担当兼任](昭58)
〈監事〉井下修(昭48) 松元功(昭62)
〈常任幹事〉松野下[田村]淳子(昭49) 最勝寺久尚(昭49) 徳永哲二(昭49) 堀之北[前原]かすみ(昭49) 佐藤[境田]安子(昭51) 淵邊善彦(昭58) 今市憲一郎(昭59) 西原真人(平03)

- 〈顧問〉今村彬(昭25) 藤島[増田]義行(昭37) 海江田怜(昭40) 北野正英(昭40) 山下憲男(昭41) 國生幸一(昭42) 前原澄雄(昭43) 重村博文(昭43)
〈参与〉徳永正幸(昭39) 相羽孝師(昭39) 藤崎[徳田]マリ子(昭40) 谷口幸一(昭42) 川井田信雄(昭45) 中村信二(昭45) 木佐木学(昭46) 若林[高山]涼子(昭46) 中國悦朗(昭46) 上加世田策(昭47)

〈学年幹事〉(各期)各学年・卒業期毎に数名(掲載省略)

※各事業担当責任者

- ☆(ゴルフ同好会)川井田信雄(昭45) (補佐) 福村正美(昭53)
☆(囲碁同好会)山元真之(昭49) (補佐) 田原孝志(昭49)
☆(会報編集委員会)西原真人(平3)
☆(国内派遣事業)西迫宏文(昭55)
☆(SNS担当責任者)海江田健司(昭63) (補佐) 西原真人(平3)

令和6年度寄付者ご氏名(敬称略)

- (昭25) 高城弘世(昭26) 玉利勝正 古川耕一 加治木正紀 高城順子 城正之(昭27) 伊藤良治(昭28) 有村哲朗(昭29) 永長隆房(昭30) 長谷場純一 立山勲(昭32) 坂元亨 窪田幸男(昭34) 別府陸雄 松元典郎(昭35) 松金瑛子 中山憲一郎 鶴田親治郎 本田勝 重信龍男(昭36) 末永依久子 了徳寺敏憲 高橋ミチ子 白井ミチ子 児玉重人(昭37) 藤島義行 石宇テルエ 泉美保子 米増洋昭 松林まりこ 肥後玲子 肥後カツ子 布留川文子(昭39) 徳永正幸 河野正美 柿元邦彦 相羽孝師 城憲夫(昭40) 藤崎マリ子 北野正英 垣内忍 川口千鶴子 高橋光弘 岩本郁代(昭41) 福重利夫 大串久美子 鮫島信子 海田京子 藤井誠 諸岡良継 小濱洋子 比良田千利 山下憲男(昭42) 藤井豊幸 國生幸一 鎌田修(昭43) 七反田篤夫 前原澄雄 大久保令子 重村博文 竹田茂隆 橋浦敏子 矢野雅子(昭44) 福元俊雄 岩井隆一(昭45) 中村信二 大村登喜子 葉山忠 川井田信雄 池田清子(昭46) 藤本ユミ子 若林涼子 中國悦朗 木瀬久幸 前田亮 堅山幸男 龍宝公 池田修治(昭47) 梅橋嘉博 上原三枝子 上加世田策(昭48) 井下修(昭49) 山崎純江 最勝寺久尚 田原孝志 徳永哲二 福島恵子 塩村朱美 堀之北かすみ 松野下淳子 本間万里子(昭50) 佐藤三恵子 有村優 稲恒芳郎(昭51) 泉晴幸 楠田靖紀(昭52) 金子智子(昭53) 矢野義信 引地隆久 満留友和(昭54) 大岩根正浩 枝元真徹 本石隆紀(昭58) 淵邊善彦 中野広行(昭59) 今市憲一郎(昭61) 久保裕(昭62) 松元功(平3) 西原真人 後藤田博司(平10) 神園麻智子(平17) 今村邦之 加治木高校 加治木高校同窓会本部 近畿龍門会 鹿児島県東京事務所 加治木工業高校同窓会・関東支部

(卒年)

〈令和5年度 会計報告〉

(会計幹事) 中野広行(昭58年卒)
関東龍門会 令和5年度(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

Table with columns for '取入の部' (Income) and '支出の部' (Expenditure), including sub-rows for '科目' (Item), '決算' (Final), and '予算' (Budget). Rows include items like '年会費収入', '印刷関係費', '旅費交通費', etc.

Table for '周年記念事業積立金・特別会計' with columns for '積立金' (Reserve) and '繰上金' (Advance), including rows for '前期繰越金' and '当期繰越金'.

(注) 当会報による報告は、決算月日の関係上、令和5年度の会計報告です。
令和6年度の会計報告は、令和7年度の承認手続きを経て、当会報令和8年号において報告します。
(備考)
(※1) 令和5年度総会は令和5年6月3日に開催。合計120名が参加。
(※2) 令和5年度年会費納入者は268名。
(※3) 令和5年度寄附者117名(寄附者ご氏名は当会報令和6年度号に掲載済)。
(※4) 印刷関係費は、会報、案内状、送付用封筒等の印刷費用です。

「編集後記」

◆寒かった冬もようやく終わり、今年も当会報を、会員の皆様にお届けできることを嬉しく思います。
◆今号も新大学生の宮路さん、都内の大学3年生の市野さんら若い世代の皆さんの声をお届けしています。若いフレッシュユナの方々の声を是非一読ください。
◆母校の様子は今回も字都校長先生に詳しく投稿いただいております。学校側も新しい学びを取り入れることに積極的に取り組んでいらっしゃいます。

◆今号では昨夏に開催した「龍門の櫛2024」の様子を詳しくご紹介いたします。
◆「あの人を訪ねて」では、始良市役所から鹿児島県東京事務所にて活躍中の宮原敏子さんに寄稿して頂きました。お忙しい中、ありがとうございます。
◆改めて快く寄稿して頂きました皆様に感謝いたします。今年もまだ6月に総会開催予定です。総会の場で皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。

今号は左記の方が編集作業に携わりました。
西迫宏文
中野広行
海江田健司
(編集責任者) 西原真人
(平成3年卒・43期)